

魅力ある高校生にインタビュー

賞状
伊勢崎興陽高等学校
女子個人ロードレース
第100回
第100回全日本学生自転車競技選手権大会
栄光を讃える
賞状
伊勢崎 興陽

明日へ ジャンプ

No.190

将来の大きな目標に向かい ペダルを踏み続ける

伊勢崎興陽高等学校 3年 小館^{こだて}りえさん

伊勢崎興陽高校の自転車競技部に所属し、7月の全国高等学校総合体育大会(インターハイ)へ出場を決めた小館さんに、自転車競技との出会いを聞きました。

「中学生の頃は美術部に所属していました。高校入学後も運動部への入部は考えていませんでしたが、部活動見学で自転車競技に興味を持ち、挑戦することにしました。入部当初は練習についていくのがやっとで、辞めたいと思うこともありました」

苦しい練習にも耐え、入部から1年が経つ頃には頭角を現し始めた小館さん。2年生で初めてインターハイの舞台を経験することとなりました。

「2年生の頃は、練習で男子部員についていくことに必死で、インターハイに出場できるかどうかなどは考えていませんでした。出場が決まった時は驚きましたが、結果は予選敗退となってしまいとても悔しかったです」

小館さんはこの悔しさを胸に練習を重ね、3年生となった今年も見事インターハイへの出場を決めました。「インターハイ出場を決めた



プロフィール

こだて・りえ
帰宅後は自転車競技者用の筋力トレーニングを自身で調べ行うなど、自主練習にも積極的に取り組んでいる。きれいな景色を見ることが好きで、休日は父の運転する車に乗せてもらい、海や山に行くことが楽しみと話す。

大会では納得のいくタイムを出すことができず、このタイムでインターハイに出場して良いのかという気持ちもありますが、高校生最後の大会なので、表彰台に立つことを目標に頑張りたいと思います」
高校生最後の大会を前に意気込みを語ってくれた小館さん。高校卒業後は大学進学を希望していますが、そこには明確な理由がありません。「高校卒業後も自転車競技を続けていきたいと思っています。今の自分にはまだ実力が足りていないと思うので、自転車競技部のある大学に進学して十分な力を付けたいです。そして、大学卒業後は競輪の選手になりたいと思っています」



9月27日(金)にいせさきFMで放送します

●午前7時54分～

●午後1時25分～

●午後5時50分～